

各委員からの質問・意見等について(一覧)

(1) 令和3年度事務・事業実績報告について

項番	委員名	質問・意見等	回答
1	今西委員	社会教育施設について、【参考】の「対策本部会議決定経過」で示されているように、大変ご苦労があったことがよく分かった。 青少年野外活動センターやその他体験活動及び4部制の成人祭など、ご苦労を伴ったと思われるが、参加人数が一定程度以上確保されている。社会教育のノウハウが認められる。 地域識字や日本語教室の参加人数などをみると、地道な活動として高く評価されるべきである	
2	桑本委員	コロナ感染拡大で緊急事態宣言の発出で事業の縮小や中止は致し方ないことだと思いますが、小学校、中学校、高校、大学生の子どもたちの時間は今しかないため、もどかしく感じました。	
3	岩城委員	プラネタリウムの学校教育との連携はどのような方針でお考えでしょうか。	【文化振興課】 現在も小学生向けの学習投影を実施しておりますが、おにクルのプラネタリウムでは、市内の全ての小学校を対象として社会見学のメニューにプラネタリウムを取り入れ、自然科学に興味を持てる機会の提供ができるよう連携を図ってまいります。
4		放課後子ども教室の運営について、特に安全管理、危機管理について、詳しく教えていただければ幸いです。また、学童保育事業との連携はどのように進んでいきますでしょうか？	【社会教育振興課】 安全管理・危機管理については、健康管理やけがの対応のほか、事故、不審者、災害対応等の具体的な手順を示した「放課後子ども教室における安全管理マニュアル」に基づき、各校区で事故や災害等に備え、緊急時対応の流れ等を作成いただいております。マニュアルについては、必要に応じ更新するとともに、代表者会議等を通して、配付・説明をしております。また、各校区の対応についても、情報共有を図っているところです。 学童保育との連携については、学童保育指導員が放課後子ども教室実行委員会に参加するなど、両事業の情報共有を図りながら、各校区の実情に応じて、連携を進めております。
5	小河委員	コロナ禍で出来る事業は実施されているように思います。	
6	三川委員	1日あたりの公民館利用状況調は提示する必要はなく、削除されてもよいと思います。	【社会教育振興課】 1日あたりの公民館利用状況調につきましては、会議資料から削除いたします。

各委員からの質問・意見等について(一覧)

(2)令和4年度事務・事業執行計画について

項番	委員名	質問・意見等	回答
1	今西委員	ICT環境についての取り組みが弱い気がする。公民館などの社会教育の現場の対応として、対面式学習、オンライン式学習などハイブリッド面からの多様な対応がもう少し広く実施されるべきだと考えるからである。	<p><b>【社会教育振興課】</b> 公民館活動では、Zoomを活用した講習会の実施や文化展のWeb開催をされた地域があります。事業の主催者側と利用者側の環境整備やスキル等の課題はありますが、ICTの取組が広がるよう、公民館運営委員長会議等を通して、事例について情報提供・共有を図ってまいります。</p> <p><b>【歴史文化財課】</b> 小学校を対象にZOOMを活用した遠隔授業を実施しており、今後もICTを活用した取り組みについて検討してまいります。</p> <p><b>【中央図書館】</b> 現在、オンライン講座の開催等も行ってありますが、今後さらに多様な対応を研究してまいります。</p> <p><b>【文化振興課】</b> 生涯学習センターきらめきではオンデマンド配信での無料講座、川端康成文学館ではZOOMを利用したオンライン講座、そのほか文化事業の演奏会等の動画配信を実施してまいりました。インターネット環境の整備に合わせて、さらに多様な対応を検討してまいります。</p> <p><b>【スポーツ推進課】</b> 昨年度のスポーツ指導者向けの講習会を、対面式とオンライン式のハイブリッドで実施しています。引き続き、オンライン式の積極的な導入に努めてまいります。</p>
2		青空公民館や野外でのラジオ体操など、かつての社会教育から学ぶべきことがある。 青少年教育については、上記の課題に対応した取り組みが予定されていると思う。	
3		「図書館を使いこなそう」という事業があるが、サードプレイスとしての役割についても考えてほしい。座席の距離をとったプログラムが工夫されていると聞くからである。	<p><b>【中央図書館】</b> 「図書館を使いこなそう」講座では、図書館での本の探し方や、図書館HPの使い方、図書館で提供しているデータベースの使い方等を館内を案内しながら紹介しています。今後、サードプレイスとしての魅力を充実させる取り組みを進めていきたいと考えています。</p>
4	桑本委員	事業が復活してきていることがうれしく思います。ただ、withコロナでどのように開催するのか興味があります。	<p><b>【社会教育振興課】</b> 青少年や指導者を対象としたイベント・研修においては、参加を会場定員数の半分とし(研修はオンラインを併用)、手指消毒やマスク着用の感染対策を行っています。 公民館区で実施するふるさとまつり等のイベントについては、基本的な感染対策のほか、来場者の密集回避や飲食の制限など大阪府のイベント開催時のチェックリストに基づき、実施可否の判断、運営をお願いしております。講座・講習会等につきましても、新しい生活様式に基づき、手指消毒やマスク着用の徹底をお願いしております。</p> <p><b>【歴史文化財課】</b> 社会状況を見据えつつ、新型コロナウイルス感染症対策を徹底してまいります。</p> <p><b>【中央図書館】</b> 今後も継続して、講座のオンライン開催や、感染対策を講じた対面での行事の開催を行ってまいります。</p> <p><b>【文化振興課】</b> 展示会などの開催にあたっては消毒や会場の換気などの感染防止対策を徹底し、演奏会・講演会・講座などにおいては、さらに人数制限や申込制にて参加者を把握するなど、適切な入場整理を実施し開催しております。</p> <p><b>【スポーツ推進課】</b> 定員の削減や2部制の導入、プレー時以外の距離の確保とマスクの着用、検温・手指消毒の徹底等、対策を講じた上で、引き続き実施してまいります。</p>

項番	委員名	質問・意見等	回答
5	岩城委員	今年度の教員初任者研修の中身やねらいについて (資料 P42)	【歴史文化財課】 教育センターから依頼を受け実施しております。本市の特色ある歴史や文化について見学し、理解を深めていただくものです。
6	小河委員	コロナ対策はここ2年間実施しているので、感染者の増加にも対応する事は出来ると思いますし、新しい生活様式で対応していけると考えますが、コロナ感染が落ち着いてきている現状、屋外での活動が増えてきています。熱中症予防対策はどのように考えれば良いでしょうか。公民館主催のふるさと祭りなどで、大変厳しい熱中症対応の意見が出てきています。地域の催し、又学校への対応はどのように考えたら良いでしょうか。	【社会教育振興課】 熱中症対策については、厚生労働省や環境省から発出された熱中症予防対策に関するリーフレットやイベント主催者向けの熱中症予防対策の手引き等を参考に、スタッフの熱中症に対する知識の習得などのほか、会場の対策として、日陰への誘導や休憩場所の設定、また、熱中症警戒レベルに応じ、参加者への呼びかけや変更・中止の検討などをお願いします。 学校の施設利用についても、熱中症警戒レベルに応じた対応をお願いします。
7	三川委員	計画案ではありますが、すでに実施された事業等(4月～7月上旬頃)については、その旨が記載されているとよいかもしれません。	【社会教育振興課】 4月～7月10日までに実施された事業等につきましては、その旨を記載し、資料を差し替えます。

(3)その他、社会教育関連事業について

項番	委員名	意見・質問	回答
1	今西委員	報告全体は、毎度同様の発言をしているが、的確でよく分かる叙述になっていることを評価したい。	
2	今西委員	<p>きらめきでは、一部ではあるが私が紹介させていただいたIT学習活動などが行われているが、市の社会教育活動全体で新しいコンテンツ開発が必要だと考える。頑張っていたきたい。</p>	<p><b>【社会教育振興課】</b> 公民館活動では、Zoomを活用した講習会の実施や文化展のWeb開催が行われております。これら取組を情報提供・共有することにより、各公民館のIT学習活動を促進してまいります。</p> <p><b>【歴史文化財課】</b> これまでWeb上での動画の公開やZOOMを活用した遠隔授業などを実施しています。今後もICTを活用した取り組みについて検討してまいります。</p> <p><b>【中央図書館】</b> コロナ禍において、電子書籍の導入や図書館ホームページの子ども向けページの充実等を行いました。デジタルコンテンツについての要望が高まっているため、今後も研究してまいります。</p> <p><b>【文化振興課】</b> 生涯学習センターきらめきでは、現在実施しているIT学習活動等を継続しつつ、新たなアプリや電子通信機器への対応を講習会や講座にて実施しております。今後も情報格差の解消に向けた取り組みを中心に実施してまいります。</p> <p><b>【スポーツ推進課】</b> 新しいコンテンツを活用できるよう、検討してまいります。</p>
3	岩城委員	<p>家庭教育学級の設置状況はどのような状況でしょうか。設置のない学校もあり、家庭教育に関する意識や状況が気になっています。現在のPTA活動の様子を考えると、スマホやインターネットで情報が集まるからなのか定かではありませんが、子育てについての地域コミュニティが希薄になっていると感じています。しかし、保護者自身が子育てに悩んだり、愛着に課題を感じる子どもたちが今も多くいたりすることは事実と感じています。社会教育は社会教育の目的がありますので、私自身は学校教育に携わる者としての連携を考えていきたいです。</p>	<p><b>【社会教育振興課】</b> 昭和39年から開始され、平成19年度までは全小学校で開設されていましたが、近年、保護者の就労の多様化や、情報化の進展により、学級生数及び活動実績が年々減少傾向にあります。また、新型コロナウイルス感染症の影響もあり、令和2年度は32小学校区中15学級、令和3年度は17学級、令和4年度は17学級の開設となっております。 保護者同士が互いにつながり、家庭で子どもを育てる必要な知識等を学習する場として、子育てを取り巻く環境に沿ったテーマで学習が進められるよう、学校教育とも連携し、引き続き取り組んでまいりたいと考えています。</p>
4	小河委員	<p>地域活動としての拠点としての公民館の管理運営機能をコミュニティセンター化を図るとありますが、どのように考えられていますか。 現状18のコミュニティセンターと15の公民館がありそれぞれが運営していますが、縦割りの行政が実施されています。また現状コミュニティセンターの運営、及び地域協議会(まちづくり協議会)など縦割りの関係であるように伺えます。 横の繋がりをもち、若い人材の育成をしていかなければ、人材の高齢化で社会教育事業だけでなく、いろいろな組織の人材(ボランティア)の受け手いなくなるように思います。</p>	<p><b>【社会教育振興課】</b> 公民館のコミュニティセンター化については、これまで公民館が果たしてきた社会教育機能を有した地域の活動拠点として、地域が自ら運営することで、主体的で自律的な活動が実践できると考えており、各地域の実情等を踏まえ、進めているところです。また、コミュニティセンター化後も、公民館は組織として継続し、講座等の公民館事業、ふるさとまつりや文化展等の地域行事を行っており、その充実に努めております。 人材については、地域住民の働き方や価値観等の違いから、地域のつながりが薄れてきていること等が課題であると考えており、幅広い世代が地域活動に参加できるよう、地域の各組織等と連携を図り、検討してまいりたいと考えております。</p>
5	古川委員	<p>各方面での活動が活発に動き出し学校や公園で子ども達の声が聞こえるようになったのも束の間、コロナ感染状況が又、全国的に上昇傾向にあります。 こども会も、前年度からの申送りも無く手探りの状態の中で活動に取り組みされております。 令和4年度の事業執行計画が一つでも多く実施出来ることを希望します。</p>	
6	桑本委員	<p>現在、建設中の新施設の開館が今から楽しみです。</p>	

その他、社会教育関連事業について

	項番	委員名	意見・質問	回答
努力目標について	7	今西委員	「努力目標」について、事務・事業実績報告に対する質問・意見等とは別に項目を設けてほしい。	<p>【社会教育振興課】 「努力目標」については、例年第2回の会議で次年度の目標を検討をいただく際に意見をいただいております。いただいた意見等を踏まえ決定した当該年度の努力目標を、当該年度の執行計画の参考として送付していますことから、そこで意見をいただけるよう、資料の目次や項目等を工夫します。</p>
	8	三川委員	「令和4年度 社会教育について」や「努力目標」では、コミュニティ・スクール(学校運営協議会制度)について言及されていませんが、社会教育の研究発表ではさまざまな実践報告が行われるようになってきました。学校と地域住民等が協力して学校の運営に取り組むコミュニティ・スクール事業について、茨木市のこれまでの取り組みや今後の計画等について、社会教育との関係から紹介していただければと思います。	<p>【社会教育振興課】 本市のコミュニティ・スクール(学校運営協議会制度)は、既存の学校協議会をベースとして、今年度からスタートしたところであります。学校協議会には、放課後子ども教室、青少年健全育成等に係る地域の方に参画いただいておりますので、これまで同様に学校と地域住民等が連携・協力して、子ども達の豊かな成長を支える取組を実施することとし、現段階では、社会教育との関係については、努力目標等に記載しておりません。</p>